

官庁営繕事業

令和8年度				新規事業採択時評価			
事業名（箇所名）	網走地方合同庁舎		担当課	官庁営繕部計画課		事業主体	国土交通省 北海道開発局
			担当課長名	小澤 剛			
実施箇所	北海道網走市南6条東4丁目1						
事業諸元	・敷地： 約5,600 m ² ・構造： 鉄筋コンクリート造 地上6階 ・規模： 約8,100 m ²						
事業期間	事業採択	令和	9 年度	完了	令和	15 年度	
総事業費（億円）	76						
計画概要	＜解決すべき課題・背景＞ 北海道網走市の4官署（網走税務署、網走開発建設部、網走地方気象台、網走海上保安署）は、いずれも既存施設の老朽化が進行していることに加え、バリアフリー未対応による施設の不備等の課題を抱えている。また、網走開発建設部と網走海上保安署とが、それぞれ既存施設が浸水想定区域内に立地している（開発建設部：洪水、海上保安署：津波）など、災害応急対策活動を行う官署における防災機能の確保に課題がある。このため、点在するこれらの官署を、ハザードマップにおいて浸水が想定されている区域でない位置に集約し合同庁舎として整備することにより、既存施設の課題を解消するとともに、敷地の有効活用を図る。 ＜政策体系上の位置付け＞ ・政策目標：官庁施設の利便性、安全性等の向上 ・施策目標：環境等に配慮した便利で安全な官庁施設の整備・保全を推進する						
事業計画の必要性	評点		必要性の主な根拠				
	112点		老朽、狭あい、地域連携、防災機能に係る施設の不備、施設の不備				
事業計画の合理性	評点		合理性の主な根拠				
	100点		同等の性能を確保できる他の案との経済比較を行った際に、事業案の方が経済的であると評価される。				
	代替案との経済比較 []内は社会的割引率を示す						
	C'－C [4%]	5.6	基準年度： 令和9年度			参考	
			C'：代替案の総費用（LCC）（億円）		85.7	C'－C [2%]：6.8億円	
		C：事業案の総費用（LCC）（億円）		80.2	C'－C [1%]：7.8億円		
事業計画の効果	評点		効果の主な根拠				
	121点		業務を行うための基本機能（B1）に関し、 ・自然的条件からみて災害防止・環境保全上良好な状態 ・施設へのアクセスは良好				
	施策に基づく付加機能（B2）の発揮見込み						
	評価項目		主な計画内容及び期待できる効果				
	社会性（地域性）		地域の特性とともに、地域の活性化等地域社会への貢献について配慮された計画（網走市立地適正化計画における都市機能誘導区域内への移転・地域防災への貢献等）であり、地域性の効果が期待できる。				
	環境保全性（環境保全性）		環境保全性の水準を満たした計画（BEE値≧1.5・BEI≦0.6）であり、環境保全性の効果が期待できる。				
	環境保全性（木材利用促進）		内装等の木質化が図られた計画であり、木材利用促進の効果が期待できる。				
	機能性（ユニバーサルデザイン）		不特定かつ多数の人が利用する施設として、建築物移動等円滑化誘導基準を満たした計画であり、ユニバーサルデザインの効果が期待できる。				
	安全性（防災性）		大地震動後、構造体の大きな補修をすることなく建築物を使用できることを目標とし、人命の安全確保に加えて機能確保が図られた計画（構造体の耐震安全性の目標として、地震力に対する各階の必要保有水平耐力を建築基準法の規定に対して1.25倍相当とする等）であり、防災性の効果が期待できる。				
その他	＜第三者委員会の意見・反映内容＞ 新規事業化については、妥当である。						

施設名： 網走地方合同庁舎

事業場所： 北海道網走市南6条東4丁目1

概要図
(位置図)

